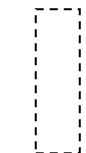


一 次のようにしてできた漢字を、
書きましょう。



から二つずつ選んで
(10点×6問)

点

(1) 目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。〈例〉馬

(2) 目に見えない事がらを、印や記号を使って表わしたもの。

〈例〉上

(3) 漢字の意味を組み合わせたもの。〈例〉鳴

明 川 下 中 雨 休

二 次の漢字の音を表す部分を□に書きましょう。(10点×4問)

〈やり方〉粉… 分

(1) 格…

(2) 銅…

(3) 持…

(4) 清…



漢字の成り立ちには、
音を表す部分と、意味を
表す部分を組み合わせ
たものがあるよ。

一次の漢字の成り立ちを下から選んで、記号を書きましょう。

(10点×5問)

点

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
森	門	三	館	羊
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()

ア 目に見える物の形を、具体的に
えがいたもの。
〈例〉山・火

イ 目に見えない事がらを、印や記号
を使って表したもの。〈例〉上・下

ウ 漢字の意味を組み合わせたもの。
〈例〉鳴・明

エ 音を表す部分と意味を表す部分を
組み合わせたもの。
〈例〉草・粉

二 □に当てはまる漢字を書きましょう。また、――の漢字は、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせた漢字です。それぞれの部分を書きましよう。(10点×5問)

(1)

じ
かん

 を守って行動する。

音を表す部分
意味を表す部分
(完答10点)

チャレンジ!
同じ音を表す部分が使わ
れている他の漢字を考え
て書いてみよう。



(2) この荷物は

かる

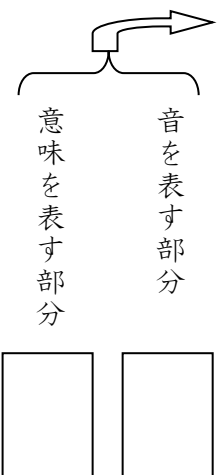
 い。

音を表す部分
意味を表す部分
(完答10点)

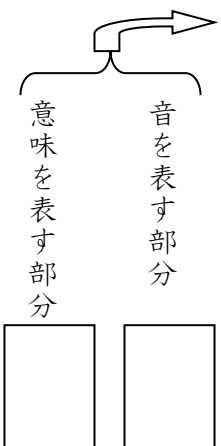
チャレンジ!
同じ意味を表す部分が使
われている他の漢字を考
えて書いてみよう。

一 次の――の漢字は、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせた漢字です。それぞれの部分を書きましょう。

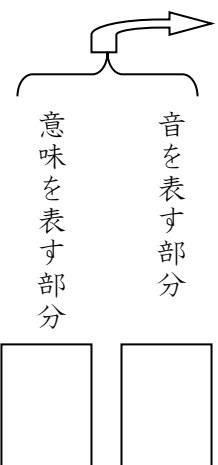
(1) 編集会議を開く。



(2) 黒板に絵をかく。



(3) 週刊誌を買って読む。



二 次の――の漢字の成り立ちを、漢字辞典を使って調べましょう。

(1) 子牛

(2) 週末

(3) 休日

(4) 晴天

一次の文について、正しい敬語を () から選び、
○をつけましょう。(10点×5問)

点

(1) 先生が、教室に

いらっしゃいました
来ました

。

(2) わたしの母の質問に、校長先生が

お答えになりました
申されました

。

(3) 社長がディナーを

食べる
めしあがる

。

(4) となりの家の木村さんから、おみやげを

もらった
いただいた

。

(5) 明日、お宅に

うかがいます
行きます

。

二 ——— の言葉を敬語に書き直しましょう。(10点×5問)

(1) 先生の子どものころの夢を聞きました。

()

()

(2) ゲストティーチャーの言うことを正確にメモする。

()

()

(3) 先生は、もう帰りました。

()

()

(4) わたしが荷物を持ちます。

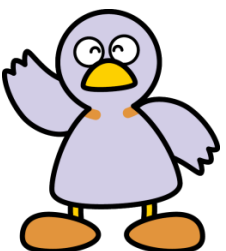
()

()

(5) 校長先生が、賞状をくれる。

()

()



相手や話題にな
っている人をうや
まう気持ちを表す
ときは、
「尊敬語」
自分や身内の者
の動作をけんそん
して言うことで、
その動作を受ける
人への敬意を表す
ときは、
「けんじょう語」
を使うよ。

一 ―――― の言葉を敬語に直し、 に文を書き直しましょう。
(15点×5問)

点

(1) 少し、待ってて。

(2) 先生が、映画を見る。

(3) 校長先生が話す。

(4) 私の考えを言います。

(5) お客様を見送る。

ヒントの言葉！
(特別な言葉を使った言い方)
「ごらんになる。
「申し上げる。」



二 職員室にいらっしゃる先生に、プリントを提出しに来たことを、
実際に話すように書いてみましょう。(25点)

失礼します。

一次の文で、敬語が使われているところに線を引きましょう。(10点×4問)

(1) コンサートには、もう行きましたか。

(2) 明後日、ご自宅にうかがいます。

(3) この機械の操作は、私をご説明します。

(4) どうぞ、たくさん めし上がってください。



点

二次のそれぞれの表現は、どのように言いかえるとよいか考え、書きかえましょう。(15点×4問)

(1) 家に来客があったとき

「お父さんは、今出かけてて。山本さんが来たって、言っておきます。」

(2) 電話をかけたとき

「もしもし。山口だけど、たかし君は。」

「はい。…だれですか。…お母さんは、今、いません。帰ってきたら、田中さんに電話するように言います。」

(3) 全校児童に、委員会の報告をするとき

「生活委員会で決まったんだけど、今月の目標は『くつそろえをする』だよ。」

一次の文中の ——— の漢字の読みを書きましょう。

(10点×8問)

点

(1) 人間()にとって、時間()は大切な財産である。

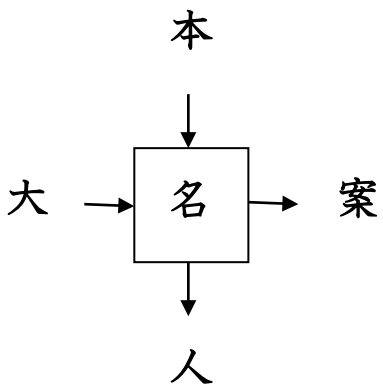
(2) 祖父が学んだ読()本を借り、音読()してみた。

(3) 直接()会って、正直()に話し、謝罪する。

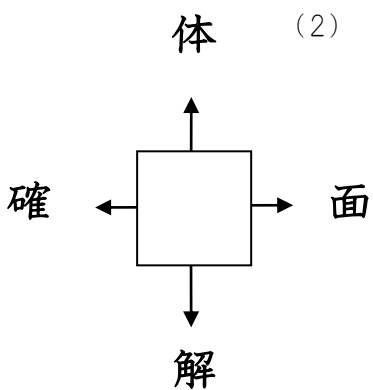
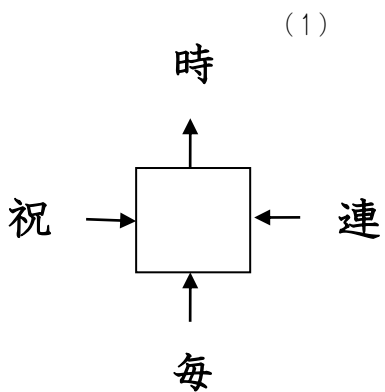
(4) 姉はアメリカに留()学中で、しばらく留()守だ。

二 例にならって、□に当てはまる漢字を入れ、それぞれ四つの熟語(じゆく)を作りましょう。(10点×2問)

〈例〉

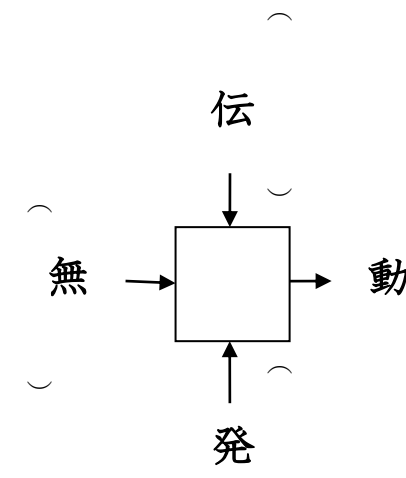


漢字には、複数の音をもつものがあるよ。
漢字辞典も使って調べよう。

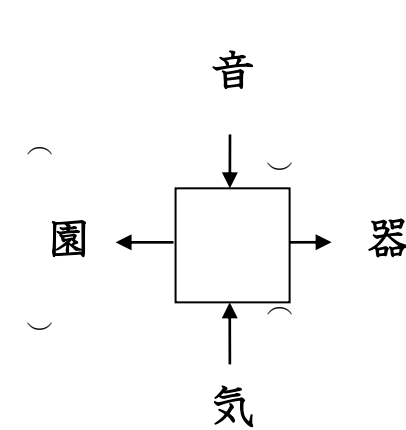


一 真ん中の□に当てはまる漢字を入れ、それぞれ、四つの熟語を作りましょう。また、できた熟語の読み方を () の中に書きましょう。
(4点×25問)

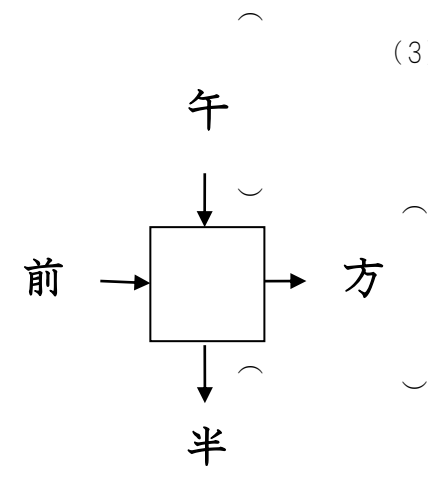
(1)



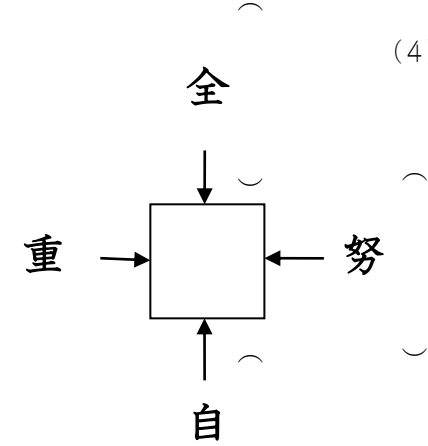
(2)



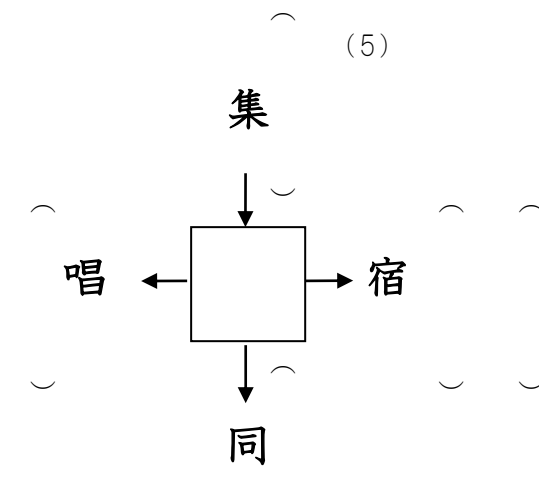
(3)



(4)



(5)



熟語は、矢印の方向に読むよ。
わかるかな？



点

一 複数の音をもつ漢字を使った問題を作ってみましょう。

(1)

(2)

〈問題の作り方〉

- ① 答えになる漢字を決める。
- ② 答えになる漢字を使った熟語を二つから四つ考える。
- ③ まわりの口に漢字を書く。
- ④ 読む方向に矢印を書く。



ヒント！
漢字辞典で音が複数ある漢字を見つけてみて。
こんな漢字を使ってみてはどうか。
「下(ゲ、カ)」
「競(キョウ、ケイ)」
「生(セイ、ショウ)」
「便(ビン、ベン)」

二 次の特別な読み方をする言葉の読み方を()に書きましょう。
また、その言葉の中から三つ選んで、文作りをしてみましょう。

()	・今日	()	()	()
()	・時計	()	()	()
()	・上手	()	()	()
()	・明日	()	()	()
()	・二十日	()	()	()
()	・大人	()	()	()
()	・今朝	()	()	()
()	・博士	()	()	()

俳句は、五・七・五の十七音で感動を伝えます。生活の中で気づいたことやおどろいたことを、俳句にして伝えてみましょう。

☆ 次の俳句を声に出して読んでみましょう。

名月や池をめぐりて夜もすがら

まつおばしろう
(松尾芭蕉)

ひつぱれる糸まつすぐや甲虫

たかのすじゅう
(高野素十)

一 生活の中で気づいたことやおどろいたことを、短い文章で書きとめましょう。

二 文章に書いたことを、五・七・五の十七音で俳句にしましょう。

三 俳句では、「季語」という季節を表す言葉を使います。
(例) 以外の「季語」を集めてみましょう。

冬	秋	夏	春
さざんか 雪 大根 手ぶくろ 北風	コスモス さんま こおろぎ 台風 冬じたく	泳ぎ かぶと虫 トマト 夕立 あせ	あたたか かえる 桜 入学 ひばり



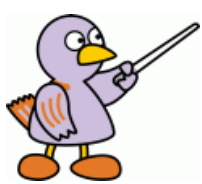
小さな「っ」
やのばす
音、「ん」も
一音と数え
るよ。

☆ 俳句の表現を工夫しよう。

空き地にはひまわりさいてきれいだな

「ひまわりさいてきれいだな」のところをたとえを使って
言いかえてみましょう。

空き地にはひまわりたちが



俳句では、「さいて」のように想像できる言葉や、「きれいだな」のようなよみ手の気持ちを直接言い表す言葉は、できるだけ使わずに表現するといふよ。
この句は、ひまわりを人のようにたとえてみよう。

へ表現の工夫のポイント

- ① 言葉を選ぶ。(たとえ、色、音など五感を使って)
- ② 言葉の順序を工夫する。(順序を入れかえてみると印象がちがいます。)
- ③ どの文字で書き表すかを考える。(ひらがな、カタカナ、漢字)
- ④ 「は」「が」「も」「を」「へ」「に」などの使い方を考える。
(一文字ちがいで思い浮かぶ様子が変わります。)

☆ 俳句①(前のプリント)で作った自分の俳句の表現を工夫してみよう。

作った俳句は友達と読み合おう。感想も伝えるといいね。



一 「飛び上がる」のような、「飛び——」という言葉を集め、意味を調べましょう。また、その言葉を使って短い文を作りましょう。
(10点×4問)

点

(1) () 飛び

文 () 意味

(2) () 飛び

文 () 意味

(3) () 飛び

文 () 意味

(4) () 飛び

文 () 意味

二次の言葉は、結び付くとどんな複合語になるでしょう。
(10点×6問)

(1) 昼 + 休み ↓

--

(2) 消費 + 税 ↓

--

(3) ビデオ + カメラ ↓

--

(4) 年賀 + はがき ↓

--

(5) 紙 + コップ ↓

--

(6) 電子 + メール ↓

--



「飛び——」
という言葉は、
まだまだたく
さんあるよ。
辞書で調べて
みよう。

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 の中の複合語は、(1)から(6)のどの組み合わせのグループに入るか考え、()に書きましょう。(5点×12問)

オレンジ色 フックトーク ピアノ教室

放送室 あめ玉 花火大会 山登り

スーパーコンピュータ 再建計画 音読カード

歯ブラシ 時間切れ

点

(1) 和語と和語の組み合わせ () () ()

(2) 漢語と漢語との組み合わせ () () ()

(3) 外来語と外来語との組み合わせ () () ()

(4) 和語と漢語との組み合わせ () () ()

(5) 和語と外来語との組み合わせ () () ()

(6) 漢語と外来語との組み合わせ () () ()

二 「手」がつく複合語を集めましょう。
(1～5個10点、6～10個20点、11個以上40点)

〈例〉手ぶくろ

「手」を辞典で引いて
みるとたくさんと言
葉が見つかるよ。



一 次の複合語を声に出して読み、読み方を()に書き
 ましょう。また、その中で元の言葉と発音が変わるものには、
 □に○印を付けましょう。
 (読み4点×12問 ○4点×8問)

(1) () 風向き

(2) () 風下

(3) () 朝日

(4) () 春雨

(5) () 雨上がり

(6) () 雨水

(7) () 白ばら

(8) () 白波

(9) () 野原

(10) () 筆箱

(11) () 西日

(12) () 昔話

点

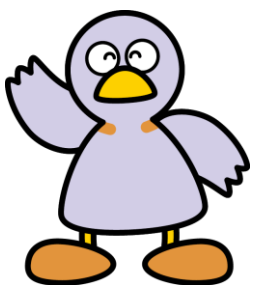
二 次の複合語を□に漢字で書きましょう。また、読み方を()
 に書きましょう。(5点×4問)

(1) こめ + たわら ↓ ()

(2) ほとけ + ところ ↓ ()

(3) ふね + たび ↓ ()

(4) あめ + おと ↓ ()



身の回りには複合語がた
 くさんあるよ。
 教科書や新聞などの中か
 ら複合語をさがしてみて、
 辞書で意味を調べてみよ
 う。

一次の言葉を和語・漢語・外来語に分けてみましょう。(5点×12問)

ふるさと 科学 ラッシュ 人

相当 予想 スピード 過ごす

多い スイミング 帰省 スプーン

和語 () () () () () () ()

漢語 () () () () () () ()

外来語 () () () () () () ()

二次の言葉と同じ意味の和語や漢語、外来語を□から選んで書きましょう。
(5点×8問)

(1) ラッシュ () (2) ホテル ()

(3) 食堂 () (4) スイミング ()

(5) 調査 () (6) 決定 ()

(7) 速度 () (8) さじ ()

点

スピード 調べる スプーン 混雑

レストラン 水泳 決める 旅館



一次の文中の――の言葉の漢語と和語の読み方を書きま
しょう。(10点×10問)

点

(1) 水辺の生物の観察をする。()

和 漢

生物は、いたみやすいので早く食べてください。

()

(2) 風車小屋のまわりに、花がきれいにさいている。()

和 漢

弟が風車を持って、楽しそうに遊んでいる。

()

(3) 色紙に、野球選手のサインを書いてもらった。()

和 漢

色紙で、つるを折った。

()

(4) 先生は、書道の大家だ。()

和 漢

アパートの大家に、家賃をはらう。

()

(5) 長い年月がたった。()

和 漢

年月を重ねる。

()

二身の回りの文章から、和語・漢語・外来語をさがしてみよう。

和語

漢語

外来語



同じ漢字でも、漢語と和語で意味がちがう言葉もあるよ。辞書で調べてみよう。

() 年 () 組 () 番 名前 ()

☆次の各文の□に当てはまる漢字を、() から選びましょう。

(10点×10問)

一(刊・肝・干・幹・汗)

① 毎週水曜日に発売される週

誌。

② この海は、

満の差が大きい。

③ 新

線で大阪まで行く。

④

臓の検査入院をする。

⑤ 運動による発

で、水分が失われる。

二(故・古・湖・個・固)

① 五年ぶりに

郷に帰る。

②

体が液体になる。

③ びわ

は日本一大きい。

④

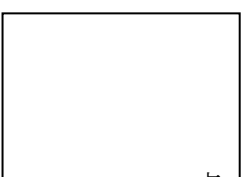
人より、団体競技の方がいい。

⑤

代エジプトの歴史。



どの部分が共通でどんな読み方をするかな。



() 年 () 組 () 番 名前 ()

☆次の各文の□に当てはまる漢字を、() から選びましょう。

(10点×10問)

一(検・験・陰・剣)

① 刀

をとぐ。



「剣」は習っ

こゝろゝ莫

② 身の危

を感じて、避難した。

③ 車を点

する。

④ スイミングスクールに、体

入学する。

二(司・飼・詞)

① 学級歌をクラスみんなで作

する。

②

育係が、うさぎにえさをやる。



③ テレビ番組の

会者。

三(館・官・管)

①

庁がたちならぶ町。

② 図書

で、本を借りる。

③ 血

がすけて見える。

() 年 () 組 () 番 名前 ()

☆次の各文の□に当てはまる漢字を、() から選びましょう。

(10点×10問)

一(生・星・姓・性)

① □ 活科の学習で、町たんけんをする。

② 理科で □ 座の学習をした。

③ 男か女か、 □ 別にまるをつけた。

④ 占いで □ 名判断をしてもらった。

二(士・志・誌・仕)

① 父は毎日、 □ 事で帰りが遅い。

② カ □ たちのけいこを見学した。

③ □ 望する学校に合格した。

④ 雑 □

の発売が待ち遠しい。

三(群・郡)

① □ 部から都市部に引っ越す人が増えている。

② しし座流星 □ を観察する。

共通する部分は
どこで、何て読む
かな。



共通するのは「君」
だけど、読み方は
「くん」ではない
ね。



() 年 () 組 () 番 名前 ()

☆次の部分が表す意味を漢字辞典で調べ、□にあてはまる漢字を書きましよう。

(10点×10問)

【例】イ(にんべん)

人間、人間のおこないや、動作に関する字に用いられる。

体

育の学習で、気分が悪くなったので、少し

休

んだ。

一言(いう・ごんべん)

① 学級会の

長を務める。

②

会の学習をした。

③ 日

の宿題を忘れてしまった。

二 雨(あめ・あめかんむり)

例にならって
やってみよ
う。



① 大

が降ったので、車のタイヤを冬用にかえた。

②

ひとつない、晴れた日。



③ 修学旅行の二日目は、

となり、かさを使用した。

④ 遠くの方で

が鳴っているので、早めに帰ろう。

() () 年 () () 組 () () 番 名前 ()

☆次の部分が表す意味を漢字辞典で調べ、□にあてはまる漢字を書きましょう。

(10点×10問)

【例】日(ひ・にちへん)

意味 「日(ひ)」をもとにして作られ、天体や気象、時間や明るさにかかわる字。

早

く起きたが、まだ

暗

いので、もう少し寝ることにした。

※日の漢字を使って短文を作り、使った漢字に線を引きましょう。

・今日は、火曜日だ。
・冬になると、日が短くなり、暗くなるのが早くなる。

一心・忝(こころ)・りっしんべん(完答)

意味

①

れ物をしたので、

いで家にもどった。

②強い

いがあれば、相手に

ず伝わる。

③登山家が消

をたったという

報が入った。

④

のこもった

援えんをする。

※心・忝の漢字を使って、短文を作り、使った漢字に線を引きましょう。(配点なし)

悪 快 忘
息 愛 応
必 急 心
想 志 情



この中から選
んで書こう。

☆次の部分をもつ漢字を集め、部分が表す意味を漢字辞典で調べましょう。

【例】土(つちへん)

つちへんの漢字 場 地 坂 城

部分の意味

大地の意味を表す「土(つち)」をもとに作られ、土地や地形にかかわる字。

一 木(きへん)

きへんの漢字

部分の意味

二 車(くるまへん)

くるまへんの漢字

部分の意味

三 糸(いとへん)

いとへんの漢字

部分の意味

一 各文の漢字の間違いを見つけ、正しく直しましょう。(両方できて10点×10問)

(誤) (正)

① 試合は以外な結果に終わった。

② 異句同音に唱える。

③ 引卒の先生の指示に従う。

④ 政治に感心を持つ。

⑤ 身の危険を感じて避難した。

⑥ 国語の成績がとてもよかった。

⑦ 近所で映画の撮映があった。

⑧ 作業の後仕末をきちんとしましょう。

⑨ 二学期は心気一転がんばろう。

⑩ 科学の専門家になる。

↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

--

一 各文の漢字の間違いを見つけ、正しく直しましょう。(両方できて10点×10問)

(誤) (正)

⑪ すみずみまで掃事をする。

⑫ 強風がおさまるまで家で待期する。

⑬ ぼくと弟は対象的な性格だ。

⑭ 短刀直入に話を切り出す。

⑮ 避難民の受け入れ体勢を整える。

⑯ わたしの得技は、一輪車に乗る事です。

⑰ 模形の飛行機を作る。

⑱ 明日は家庭訪問で先生がいらっしゃる。

⑲ 完単な問題を解く。

⑳ 礼義正しく近所の人に接する。

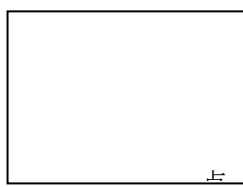
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

--

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 線の部分を漢字で表したときに、当てはまる漢字にまるをつけましょう。

(5点×20問)



- | | |
|--|---------------|
| ① 郵便を <u>おく</u> る。 | (送る・贈る) |
| ② 弓で <u>矢</u> を <u>いる</u> 。 | (射る・入る・要る) |
| ③ あた <u>た</u> かな <u>日</u> 。 | (温か・暖か) |
| ④ 計 <u>算</u> があ <u>う</u> 。 | (会う・合う) |
| ⑤ 年があ <u>ける</u> 。 | (明ける・開ける) |
| ⑥ カメ <u>ラ</u> で <u>う</u> つ <u>す</u> 。 | (移す・写す・映す) |
| ⑦ 税 <u>金</u> を <u>お</u> さ <u>め</u> る。 | (収める・納める・修める) |
| ⑧ 授 <u>業</u> に <u>お</u> く <u>れ</u> る。 | (遅れる・後れる) |
| ⑨ あ <u>つ</u> い本。 | (厚い・熱い・暑い) |
| ⑩ クラ <u>ス</u> 委 <u>員</u> に <u>お</u> す。 | (押す・推す) |
| ⑪ し <u>ょう</u> 数 <u>の</u> 学 <u>習</u> 。 | (少・小) |
| ⑫ 新 <u>しい</u> 家 <u>が</u> た <u>つ</u> 。 | (建つ・立つ) |
| ⑬ 小 <u>鳥</u> が <u>な</u> く。 | (泣く・鳴く) |
| ⑭ 選 <u>手</u> い <u>外</u> は休 <u>み</u> 。 | (以・意) |
| ⑮ 目 <u>が</u> さ <u>め</u> る。 | (覚める・冷める) |
| ⑯ 身 <u>長</u> を <u>は</u> か <u>る</u> 。 | (計る・測る・図る・量る) |
| ⑰ 司 <u>会</u> を <u>つ</u> と <u>め</u> る。 | (努める・勤める・務める) |
| ⑱ 間 <u>違</u> い <u>を</u> な <u>お</u> す。 | (治す・直す) |
| ⑲ 朝は <u>や</u> く <u>起</u> き <u>る</u> 。 | (速く・早く) |
| ⑳ 気 <u>が</u> か <u>わ</u> る。 | (変わる・代わる) |

一 「不」「未」「無」「非」のいずれかを使って、下の語を打ち消す漢字三字の熟語を完成させましょう。

（10点×10問）

① 欠席のため、皆勤賞となった。

② 私は指先が 器用です。

③ このくらいの練習では、まだまだ 十分だ。

④ このあたりの土地は、 開発である。

⑤ 宿泊先では、 常口を確認しましょう。

⑥ 入試で 合格にならないように、熱心に勉強する。

⑦ 気味なくらい静まっている。

⑧ その話については、 決定です。

⑨ 世の中には 思議な現象がたくさんある。

⑩ お金を落として 一文になってしまった。



二字の漢字からできている熟語の成り立ちには、次のようなものがあります。

ア 似た意味の漢字の組み合わせ（岩石・河川）
イ 意味が対になる漢字の組み合わせ（上下・左右）
ウ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ（鉄橋・親友）
エ 「くを」「くに」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ（預金・投球）

ー 次の熟語の読みを横の「 」に書き、下の（ ）の中に、アからエの
どの組み合わせにあてはまるか書きましょう。（5点×20問）

【例】 「はくし」

白紙（ウ）

①	「	激	突	（	」	（
③	「	机	上	（	」	（
⑤	「	競	争	（	」	（
⑦	「	寄	港	（	」	（
⑨	「	苦	楽	（	」	（
⑪	「	直	線	（	」	（
⑬	「	初	夢	（	」	（
⑮	「	暗	黒	（	」	（
⑰	「	駅	前	（	」	（
⑱	「	優	秀	（	」	（
②	「	防	風	（	」	（
④	「	寒	暖	（	」	（
⑥	「	白	黒	（	」	（
⑧	「	遅	延	（	」	（
⑩	「	帰	郷	（	」	（
⑫	「	応	答	（	」	（
⑭	「	出	場	（	」	（
⑯	「	拡	大	（	」	（
⑰	「	明	暗	（	」	（
⑱	「	激	痛	（	」	（

二字の漢字からできている熟語の成り立ちには、次のようなものがあります。

ア 似た意味の漢字の組み合わせ（岩石・河川）
イ 意味が対になる漢字の組み合わせ（上下・左右）
ウ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ（鉄橋・親友）
エ 「くを」「くに」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ（預金・投球）

一 次の熟語の読みを横の「」に書き、下の（ ）の中に、アからエのどの組み合わせにあてはまるか書きましょう。（5点×20問）

【例】 「とざん」

登山（エ）

①	早	速	（	）	
③	巨	木	（	）	
⑤	有	無	（	）	
⑦	温	水	（	）	
⑨	力	作	（	）	
⑪	開	閉	（	）	
⑬	美	点	（	）	
⑮	観	劇	（	）	
⑰	昼	夜	（	）	
⑱	短	針	（	）	
②	回	転	（	）	
④	着	陸	（	）	
⑥	預	金	（	）	
⑧	多	大	（	）	
⑩	最	古	（	）	
⑫	高	低	（	）	
⑭	干	満	（	）	
⑯	握	力	（	）	
⑰	就	職	（	）	
⑱	沿	道	（	）	

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 □にあてはまる漢字を□の中から選び、似た意味の漢字の組み合わせの熟語を完成させましょう。
(5点×10問)

② 学

助

③ 付

④

体

⑤

生

⑥

関

⑦ 通

⑧ 会

⑨

服

⑩

冷

救 寒 習 衣
行 産 育 合
洋 係 身 着

使わない漢字
は二つあるよ。



訓読みにして
考えてみよう。

二 □にあてはまる漢字を□の中から選び、反対の漢字の組み合わせの熟語を完成させましょう。
(5点×10問)

① 上

② 新

③ 増

④

地

⑤ 売

⑥ 後

⑦

入

⑧ 多

⑨

悪

⑩

近

先 遠 天 少
大 買 出 減
遅 旧 善 下



短歌は、五・七・五・七・七の三十一音からなります。小さな「つ」

一 教科書の「たのしみは」で学習したことを生かして、「よろこびは」で



☆ 次の文章を読んで、答えましょう。

ずんずんろうかを進んで行きますと、今度は水色のペンキぬりの戸がありました。
「どうも変なうちだ。どうしてこんなにたくさん戸があるのだろう。」

「これはロシア式だ。寒いとこや山の中はみんなこうさ。」

そして二人はその戸を開けようしますと、上に黄色な字でこう書いてありました。

とうけん

㊦【当軒は注文の多い料理店ですから、どうか[㊦]そこはご承知ください。】

「なかなかはやってるんだ。こんな山の中で。」

「それあそうだ。見たまえ、東京の大きな料理屋だって大通りには少ないだろう。」

二人は言いながら、その戸を開けました。すると、そのうら側に、

【注文はずいぶん多いでしょうが、どうかいちいちこらえてください。】

「これはぜんたいどういうんだ。」

一人のしんしは顔をしかめました。

※「注文の多い料理店」 宮沢 賢治

(一) ろうかを進んでいくと、何がありましたか。八文字を書きぬきましょう。

								8	の	戸
--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

(二) 二人は、たくさん戸がついているのはなぜだと思っていますか。

四文字を書きぬきましょう。

				4	の建物だから
--	--	--	--	---	--------

(三) ㊦が指していることを、五文字で書きぬきましょう。

					5	こと
--	--	--	--	--	---	----

みやざわ けんじ
宮沢賢治の作品を読んでみよう。

「銀河鉄道の夜」や

「雪わたり」などがあるよ！



(四) ㊦を見て、二人はどう思いましたか。二十字程度で書きましょう。

			20			

☆ マスを正しく使って、ていねいな字で書き写しましょう。

春はあけぼの。やう

やうよ白くなり行く山ゆぎ

は、すこしあかりで、

むらさきだちたる雲の
ほそくたなびきたる。

[illegible]

☆ マスを正しく使って、ていねいに書き写しましょう。

冬はつとめて。雪のふ

りたるは言ふべきにもあ

らず、しものいと白きも、

またさらでもいと寒き

に、火などいそぎおこし

て、炭もてわたるもいと

つきづきし。昼になりて、

ぬるくゆるびもていけ

ば、火おけの火も白きは

いがちになりてわろし。

冬は早朝がよい。雪が降っているのは言うまでもない。霜が真っ白なもの、

またそうでなくても、とても寒いときに、火などを急いでおこして、炭を

持ち運ぶ様子もたいへん冬らしい。昼になって、寒さがやわらいでくると、

火桶の中の火も白い灰が多くなってきて、よくない。

まくらのそうし

せいしょうなげん

「枕草子」は、作者の清少納言が心を感じたことを自由に書き記した

ずいひつ

随筆だよ。清少納言は、この作品の始めに、四つの季節それぞれに

ついて、自分の思いをつづっているのだね。他にも、こんなことを

書いているよ！

うつくしきもの。瓜にかきたるちこの顔。

かわいらしいもの。ウリに描いた子どもの顔。

